

令和4年4月26日  
中部地方整備局

民間と自治体が連携して取り組むインフラ施設の調査・検討を支援します。  
～令和4年度 第1回 官民連携基盤整備推進調査費の配分を実施～

令和4年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業  
(官民連携基盤整備推進調査費) 第1回募集分について、中部地方整備局  
管内から下記の事業が決定されましたのでお知らせします。  
(詳細は別添2参照)

中部地方整備局管内の実施事業

調査名	実施主体
大垣公園における地域活性化拠点形成のための 基盤整備検討調査	大垣市
JR瑞浪駅周辺における魅力あるまちづくり のための基盤整備検討調査	瑞浪市

配布資料

- 別添1 : 令和4年度第1回実施事業一覧<中部地方整備局管内分>  
別添2 : 令和4年度第1回実施事業概要(調査計画書(案)の概要)  
別添3 : 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要  
参考資料: 国土交通省(本省)プレスリリース資料(抜粋)  
※詳細は、国土交通省ホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>

配布先

中部地方整備局記者クラブ

問合せ先

中部地方整備局 企画部 広域計画課 課長 後藤 明  
建設専門官 今津 崇

TEL : 052-953-8129 FAX : 052-953-8294

別添1

調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
				事業費	国費
大垣公園における地域活性化拠点形成のための基盤整備検討調査	おおがきし 大垣市	岐阜県おおがきし 大垣市	大垣藩十萬石を象徴する大垣城が存在する大垣公園において、公園内にあつて老朽化した大垣城ホールの改築を計画しており、中心市街地にある都市公園の強みを活かした地域活性化を図るため、民間事業者によるイベント開催や収益施設の整備等に合わせて、公園施設の再整備及び大垣城ホールの改築に係る需要調査、概略設計及び整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	24,000	12,000
J R瑞浪駅周辺における魅力あるまちづくりのための基盤整備検討調査	みづなみし 瑞浪市	岐阜県みづなみし 瑞浪市	瑞浪市の中心市街地であり、鉄道とバス等の交通結節点であるJR瑞浪駅周辺地区において、ラッシュ時における混雑解消・安全性向上を図り、にぎわいを生む歩行者滞在空間を創出するため、民間事業者による市街地再開発事業やイベントの開催と合わせて、駅前広場及び交差点の交通量調査や概略設計等を行う。	17,000	8,500

# 大垣公園における地域活性化拠点形成のための基盤整備検討調査

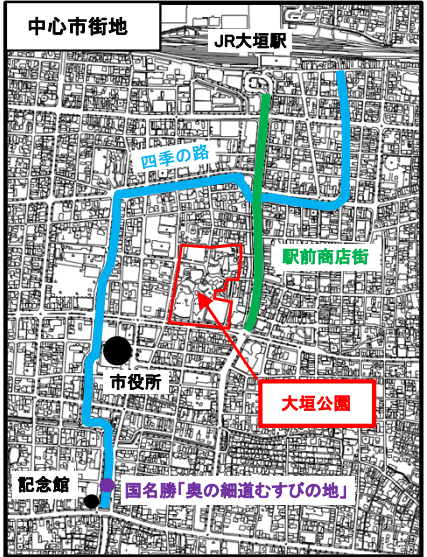
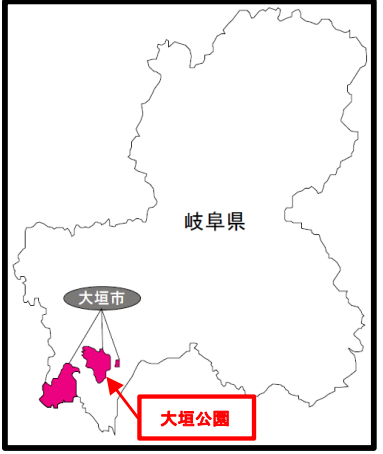
## 地域の特徴等

○大垣公園は、JR大垣駅から国名勝「奥の細道むすびの地」を結ぶ回遊ルート「四季の路(みち)」の中心部に位置した都市公園で、大垣藩十万石を象徴する大垣城が公園内に存在し、中心市街地において歴史を感じ、緑に癒される市民の憩いの場となっている。

○大垣公園内にある大垣城ホール（運動施設）は、約1,200人収容可能な観覧席を備えた大ホールを有し、年間約10万人が利用するほど、市内外の住民にとってイベントやスポーツに親しむ施設であるが、建設後約70年が経過しており、老朽化に加え耐震性が課題となっている。

○官民連携により大垣公園をリニューアルすることで、中心市街地に賑わいと憩いの空間を創出し、ウォークブル・シティの拠点とすることが求められている。

おおがきし  
【調査箇所：岐阜県大垣市】  
位置図



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・平成28年3月「中部圏広域地方計画」策定
- ・平成29年3月「大垣市公共施設等総合管理計画」を策定
- ・平成30年4月「大垣市立地適正化計画」策定
- ・令和 3年3月「大垣市中心市街地活性化基本計画」策定
- ・令和 3年8月「大垣城ホール・市民会館あり方検討プロジェクトチーム」を設置

凡例

- 社会資本整備
- 民間での取組



### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・大垣市商店街振興組合連合会が新たな生活様式に適應する分散回遊型のイベント「まちなかスクエアガーデン (MSG)」を開催（令和4年度～）
- ・郭町東西街区市街地再開発準備組合による市街地再開発事業（令和7年度～）
- ・大垣市体育連盟が各種スポーツイベントの企画・実施（令和9年度～）
- ・PPP/PFI事業者による公園の整備・管理運営、大垣城ホールの改築・管理運営及び飲食・物販店舗等の整備（令和9年度～）

密接な  
関連性

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・大垣城ホールが老朽化し、利用者の安全確保のため改修が必要。
- ・社会情勢の変化に対応し、大垣城ホールの改築を核として、市民ニーズに合った魅力ある公園整備が必要。
- ・中心市街地にある地区公園の強みを活かした地域活性化を図るため、官民連携により賑わい空間の創出が必要。

### (4) 【調査内容】

- ①公園施設（園路、広場、遊戯施設等）の再整備、大垣城ホールの改築に係る基礎データ収集、需要調査、基本計画策定、概略設計等
- ②公園の整備・管理運営及び大垣城ホールの改築・管理運営に係るPPP/PFI等導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・既存公園のリニューアルに民間活力を導入することで、大垣公園のさらなる魅力向上と利用者の増加が見込める。
- ・利用者増加により公園一帯に賑わいが生まれ、中心市街地の消費拡大が促進し、地域経済の活性化が見込める。



# JR瑞浪駅周辺における魅力あるまちづくりのための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- JR瑞浪駅周辺は瑞浪市の中心市街地であり、鉄道とバス等の交通結節点でもある。しかしながら、周辺の商店街やまちなみは整備されて40年近く経過しており、建物の老朽化や住民の高齢化、商店街の賑わい喪失等、中心市街地としての活性化が大きな課題となっている。
- 瑞浪市内には高校が3校、大学が1校あり、周辺他市と比較しても学生が多く訪れているが、まちに滞在する目的や場所が無いためまちを素通りしている。そこで、瑞浪駅周辺を、地域住民だけでなく訪れる学生や駅利用者にとっても滞在したくなるような多世代交流空間とすることで、活性化を図り、将来に渡り魅力あるまちとなることを目指している。

みすなみ  
【調査箇所：岐阜県瑞浪市】  
位置図

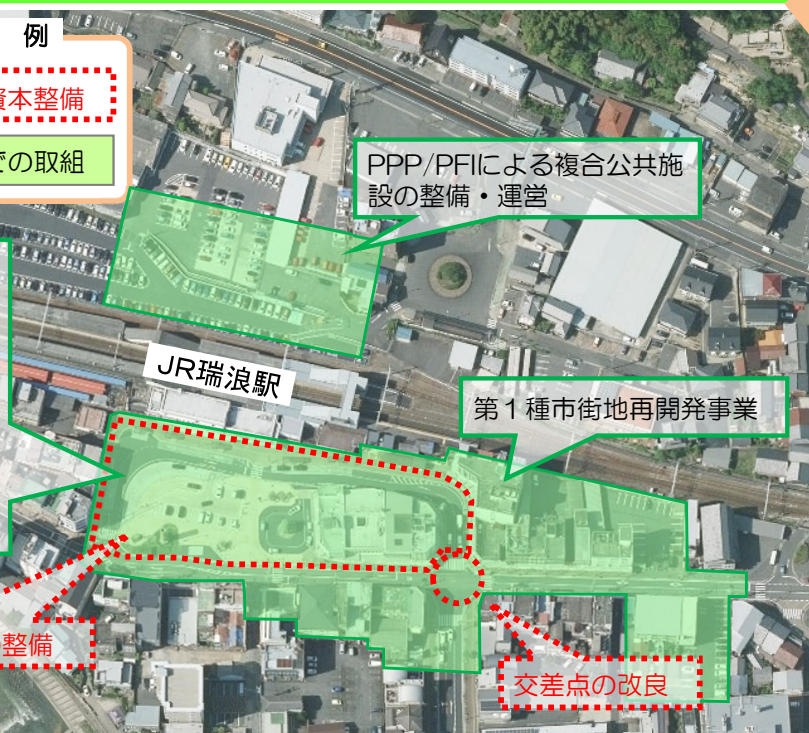
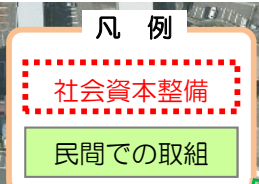


**(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）**

- 平成28～29年：国土交通省住宅局の「地域住生活まちづくりモデルに関する調査・検討業務」のモデル都市に選定され、まちの現状・課題等を整理
- 令和2年：「瑞浪駅周辺まちづくり基本計画」を策定
- 令和3年：「瑞浪市立地適正化計画」を策定し、瑞浪駅周辺の再開発事業を都市機能誘導施策と位置付け

**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- 瑞浪駅南地区市街地再開発準備組合が再開発組合を設立し、第1種市街地再開発事業を実施（令和6年度～）
- 合同会社プロトビ・合同会社おひさま（まちづくり拠点施設の民間運営事業者）によるエリアの魅力づくりのためのイベント開催や、チャレンジショップ等の運営を継続的に実施（令和4年度～）
- PPP/PFI方式による滞在型図書館を中心とした複合公共施設の整備・運営（令和10年～）



**(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）**

- 特に朝夕のラッシュ時における、駅前広場及び周辺道路の混雑解消、安全性向上が必要
- 駅周辺に地域住民や駅利用者が集い、憩えるような歩行者滞在空間（歩道・広場等）の整備が必要

**(4) 【調査内容】**

- 駅前周辺の交通量調査、交差点部のシミュレーション、最適な交通処理方法及び駅前広場の停車容量の検討
- 駅前広場及び交差点の概略設計

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

- 官民が連携して、ハード整備だけでなくソフト事業も併せ、面で事業を展開することによる、中心市街地に相応しい「魅力あるエリア」の実現
- 安全で快適な、ウォークブルな駅周辺空間の実現

密接な  
関連性

# 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

## 事業概要

- 各地域の個性や強みを活かした特色ある成長を図るためには、民間の投資効果が最大限に引き出されるよう、民間の設備投資等と一体的に基盤整備を実施することが重要である。
- 官民が連携して実施する民間投資誘発効果の高い基盤整備や広域的な地域戦略に資する事業について、民間の意思決定のタイミングに合わせ、機を逸することなく基盤整備の構想段階から事業実施段階への円滑かつ速やかな移行を図るため、地方公共団体が行う事業化検討に対して調査費補助を行う。

## 事業内容

【配分先】地方公共団体(都道府県・市町村等)

【補助率】1/2

【募集・配分スケジュール】年3回配分(予定)

区分	募集期間	配分時期
第1回	1月25日～2月18日	4月26日
第2回	2月28日～4月15日	6月下旬
第3回	6月中旬～7月上旬	8月下旬

### 【支援内容】

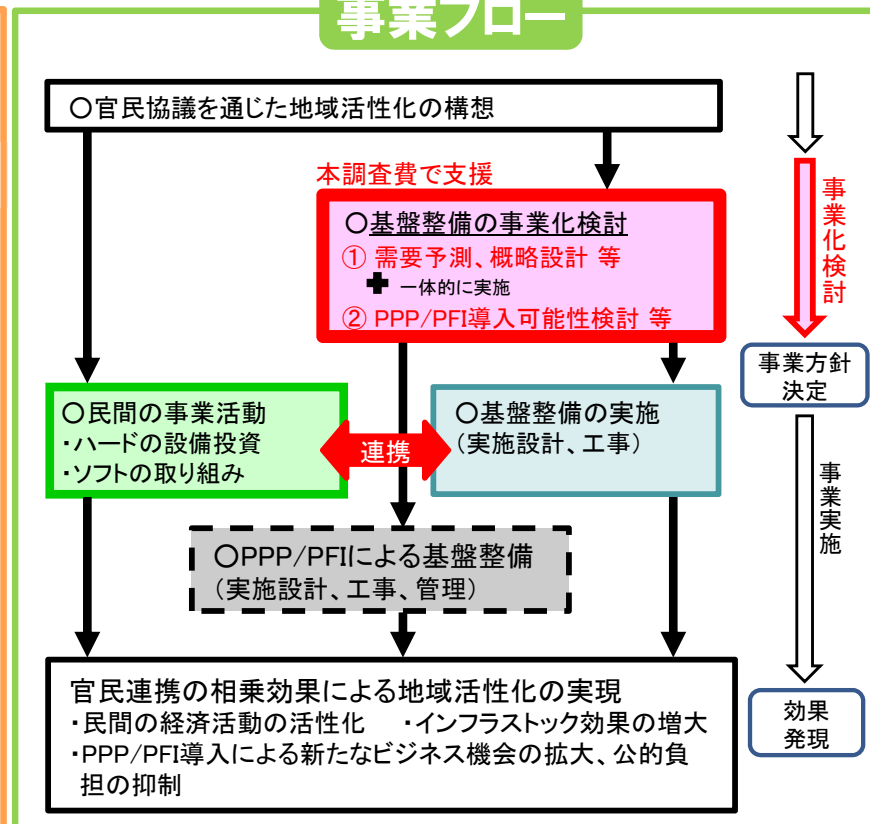
民間事業活動と一体的に行うことにより、優れた効果の発現や効率性が期待できる国土交通省所管の基盤整備※の事業化に向けた検討経費を支援

<調査内容>

- ① 施設整備の内容に関する調査  
(例) 基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等
- ② ①で調査した施設の整備・運営手法に関する調査  
(例) PPP/PFI手法の選定、官民の業務分担、VFM算定等

※ 道路、海岸、河川、港湾、都市公園、市街地整備、空港等の公共土木施設

## 事業フロー



令和4年4月26日  
国土政策局広域地方政策課

## 令和4年度 第1回 官民連携基盤整備推進調査費の配分を実施します

～民間と自治体が連携して取り組むインフラ施設の調査・検討を支援～

国土交通省は、「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業(官民連携基盤整備推進調査費)」の令和4年度 第1回配分として、別添1のとおり、地方公共団体が実施する20件の調査(道路・河川・都市公園・市街地整備)の支援を決定しました。

本事業は、民間の設備投資等と一体的に計画される地方公共団体のインフラ整備(道路・河川・都市公園・市街地整備・港湾・空港等)の事業化検討を支援するための制度です。

(配分先：地方公共団体、補助率：1/2)

### 【添付資料】

- ・別添1 令和4年度第1回実施事業一覧
- ・別添2 令和4年度第1回実施事業概要(調査計画書(案)の概要)
- ・別添3 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

### 【その他】

- ・募集情報や過去の実施例等は以下をご覧ください。

国土交通省 HP「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」

(<http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>)

### 【問合せ先】

国土政策局広域地方政策課調整室

専門調査官 長谷川、城間

主査 森倉

代表：03-5253-8111 (内線 29-914、29-916、29-924)

直通：03-5253-8360

FAX：03-5253-1572